

平成 21 年 9 月 19 日

【緊急通知】

神奈川県ラグビーフットボール協会所属
ラグビースクール代表者各位殿
同ラグビースクール在籍生徒保護者各位殿

神奈川県ラグビーフットボール協会
普及育成委員会ラグビースクール担当
委員長 三浦幸宏

2009 年度のラグビースクール県大会について

謹啓 初秋の候、関係各位におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
また平素は神奈川県ラグビーフットボール協会所属各ラグビースクールの運営、活動につ
きまして格別なるご協力ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、私どものラグビー界におきましては、7人制ラグビーのオリンピック種目への**追加
競技候補の決定**、2019年 IRB ワールドカップ日本開催決定など、明るいニュースが飛び込
んできているところでございます。しかし皆様も御承知の通り、現在全世界的に新型イン
フルエンザの蔓延で罹患者数の増加拡大、また死亡者数は増えていくばかりとなっており、
各報道におきましても情報発信の無い日が無い状況となっております。また、新型イン
フルエンザの猛威は日本国内におきましては今秋の季節性インフルエンザを含めた総罹
患者数が 2500 万人に達するとの予想が報告されているところとなっております。その罹患
者の多くは 5 歳から 14 歳の子供たちとなるであろうとも予測されています。各地域の学校
等におきましては、学級、学年、学校閉鎖など様々な感染防止対応処置がなされ、新型イン
フルエンザの感染拡大防止に努められている状況でございます。当普及育成委員会ラグ
ビースクール担当競技、CS、安全対策の各部会におきましてもインフルエンザ対策につ
きまして協議をしていただいていたところございました。

しかし、先頃神奈川県では常日頃私たちが接しておりますスクール生と同世代の男子児
童が新型インフルエンザに感染し手厚い治療看護も報われず、国内では初の若年者の死亡
例となったとの報道があり、驚きとともに深い悲しみを禁じえません。

つきましては、こういった差し迫った状況にあることを鑑みて、普及育成委員会ラグビ
ースクール担当委員長といたしまして、平成 21 年 9 月 18 日に開催いたしました評議員会
において各部会にて検討されてまいりました内容についておはかりし、慎重かつ十分な審
議をしていただき、評議員(スクール代表者)の多くのご賛同を得ましたので、今年度の県大
会はスクール在籍生徒の安全確保(インフルエンザの感染拡大防止)を第一と考え、従来の順
位づけをおこなう形式ではなくオープン戦形式として下記の通り執り行いたくここにご連
絡申し上げる次第でございます。

関係各位におかれましては、今年度当初よりこの大会へ向けた準備、計画をされ、また生徒各位も大いなる夢と希望を持って立ち向かっていこうとしていた矢先での急な変更により戸惑いもあるかと存じます。しかし何卒この状況をご理解いただき、貴スクール所属関係各位の皆様にもお伝えいただきご理解を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。どのような事態にあってもあせらず確実なプレーをするラグビー精神で、この難局を乗り越えていただけるものと信じております。

今後とも神奈川県ラグビーフットボール協会普及育成ラグビースクール担当委員会の活動にさらなるご指導ご鞭撻ご高配を賜りますようお願い申し上げ、通達とさせていただきます。

謹白

記

1. 2009年度県大会形式について

順位づけを目的とはせず、出場する選手がこれまで準備した成果を全力で試す場としての試合を行うオープン戦形式とする。

2. 2009年度県大会に出場する選手、コーチの条件

- 1) 家族にインフルエンザ、熱発者(37度以上)がいる濃厚接触者は参加自粛を要請する(実質禁止を意味する)
- 2) 学校、学年、学級閉鎖対象となる生徒は参加自粛を要請する。
- 3) 当日、熱発者(37度以上)、流感(季節性インフルエンザも含む)罹患者、体調不良者(選手、コーチ共)は参加禁止。
- 4) 各試合会場への移動の際は、できるだけマスクの着用を要請する。(感染防止のため)

3. 2009年度県大会の運営方法について

- 1) 競技部会の平成21年ミニ県大会申し合わせ事項の4. 優勝チームの決定についての項を除きすべて申し合わせ事項の通りとして行う。また細部については柔軟な対応を行っていく。
- 2) インフルエンザ罹患者情報の収集として、スクール生が、インフルエンザ発症、発熱した場合は、スクール安全対策部会に報告をする事を継続して行う。
- 3) 試合会場においての手洗い、消毒、うがいの励行を各チームが徹底して行う。
- 4) 各スクールにおいて、体調に問題がないかどうかをチェックする体制を構築しておく。
- 5) 今後委員長判断によるさらなる追加決定がされることもある。

以上

平成 21 年 9 月 19 日

県大会 大会運営方法の変更について

神奈川県内のインフルエンザ感染者数は、第 37 週(9 月 7 日～9 月 13 日)に定点当たり 3.92 の患者数となり、ついに全国 8 番目の注意報が発令されました。

横浜市の統計では、全インフルエンザ患者数の 68% が神奈川県普及育成ラグビースクール委員会に所属する生徒の年令の、5 歳から 14 歳に集中しております。
また 9 月 17 日には、横浜市在住の気管支喘息を持病に持つ 12 歳の男子が新型インフルエンザにより死亡しております。

厚生労働省予測では、この度のインフルエンザ感染は 10 月になりピークを迎えるとしております。

以上の理由により、従来型の県大会では試合会場への移動・他のスポーツでは見られない試合中の濃厚接触により、不用意なインフルエンザおよび流行性感冒の感染拡大を招く恐れが多々あると判断いたしました。

よって、今年度の県大会は、発熱者、感染者濃厚接触者、学級閉鎖・学校閉鎖されている期間の生徒及び気管支喘息などのインフルエンザに罹患すると重症化しやすい生徒が県大会に無理に参加しなくても済む環境にするため、従来型の優勝を争う方法ではなく、オープン戦形式での運営を推奨いたします。

すべてに優先するは、安全です。

神奈川県普及育成委員会ラグビースクール担当安全対策部会
(神奈川県ラグビー協会安全対策委員会委員)
部会長 田崎博也 (横浜医師会所属)